

WITH

Arisawa Communication Magazine

福岡の街を代表するホテルへ

特集

SHINSEI×WBF×ARISAWAが創る
**FUKUOKA RESORT
STYLE HOTEL**

発行／有澤建設株式会社 広報委員会 福岡市博多区博多駅南4-4-12

WITH

Vol. 18 2018 December

発行日／2018年12月1日

発行／有澤建設株式会社 広報委員会 福岡市博多区博多駅南4-4-12

arisawa topics

有澤建設で最近話題になった様々な出来事をご紹介します。



海の中道海浜公園で行われた、JA福岡市東部様主催の農業会ボランティア清掃活動に参加してきました。300人以上のボランティアの方々が集まり、約一時間半くらじの清掃でしたが、今回のボランティア活動では、親子連れで参加される方がたくさんいました。子供たちも楽しんでいました。一度きりの浜辺を取り戻すべくボランティアによる清掃活動が行われています。

改めて環境を守るというの大切さを実感しました。来年もまた参加したいなと思います。

001

環境を守る大切さを実感！

002

熊本の現状を知つたバスツアー。



春日和の、JA福岡市東部農業会様にお説いていただき、熊本地震の復興支援として企画された日帰りバスツアーに参加しました。熊本城の早期復興のため旅行代金の一部を「熊本城災害復旧支援金」に募金するツアー。熊本城の現状を知るために最初の目的地「熊本城」へ。ボランティアガイドさんの説明によると、2016年4月の熊本地震で大きな被害を受け、まだ多くの部分で立ち入りが禁止され、城内のいたる所で石垣が崩れて壊れたままですが、2019年秋には大天守の外観を復旧し、2021年春には天守閣内部が一般公開される予定だそうです。

熊本城見学後は七城温泉ドームでバーベキューを楽しみ、七城メロンドームでお買い物メロンを購入しましたが、残念ながら売り切れでした。

熊本地震から2年半、手付かずのところが多くあります。が、今回のバスツアー参加で着実に復興が進んでいる熊本の現状を知ることができました。

pick up

Do you know Arisawa's Web site?

\ 絶賛更新中！ / もうご覧になりましたか？ 有澤建設のウェブサイト。

有澤建設 検索 www.arisawa.jp

弊社のウェブサイトの中で、オススメのコンテンツは「LANDSCAPE ARISAWAのある風景」です。このコンテンツでは、弊社が施工した物件を地図上で表示しており、どこにどのような建物を施工したかが一目瞭然です。施工事例ページへ飛んで、写真を大きくご覧頂くことも可能です。また社内の様子を紹介している「有澤レポート」は毎月2回更新しておりますので、是非ご覧下さい。



SHINSEI×WBF×ARISAWAが創る FUKUOKA RESORT STYLE HOTEL

福岡の街を代表するホテルへ

西日本」の繁華街、中洲。その中央部、博多川に臨む通りに7月、「WBFリゾートホテル福岡中洲」が誕生した。ホテルを手掛けたのは、土地開発を進めた「株式会社シンセイ・プラスワン」と、ホテルを経営する「WBFリゾート沖縄株式会社」、そして建設を担った「有澤建設株式会社」。三社の共創によって生まれた新しいホテル建設の舞台裏には、どのようなストーリーがあったのか。三人の代表が当時を振り返り語り合う。



株式会社
WBFリゾート沖縄
代表取締役
木下 英資



株式会社シンセイ・プラスワン
代表取締役社長
兒嶋 伸二氏



株式会社アリサワ
代表取締役社長
兼城 賢成氏



Good Point /

朝食のドリンクも自分で作ることができます。人参・きゅうり・オレンジ・リンゴなど好きなものを好きな分だけジューサーに入れて作ります。これも体験型ホテルの楽しみのひとつです!



なドレッシングを選んでおり、ジンジャーサラダが完成。ジンジャーが肉や野菜をクリルで焼いてくれます。グランデ博多は「ワード」に泊まる、街食は自分で選ぶ風呂になりました。食事は自分で選ぶながらつくるという体験型のホテルです。大人も子供も楽しめる「ホテルWBFグランデ博多」を是非ご利用ください。



ARISAWA社員の 博多宿泊 レビュー

グランデ博多は、大人も子供も楽しめる体験型のホテル！

有澤建設の計画力と協力業者との体制が奏功したんですね。

和田 今回、私たちが難しいオーダーにも対応できたのは、皆がいいものを作ろうという同じ思いを持つていたからだと思います。お客様、設計士とも近い距離感で忌憚なく意見を交わせたのも良かったですね。皆さんの協力があったからこそ、お客様のイメージをカタチにできたのだと思います。ホテルWBFグランデ博多は南国リゾートをテーマにロフト付きの部屋や露天風呂付きの部屋を始め、バリエーションの多い客室が揃っているのでどの部屋に泊まっても楽しん

でいただけると思います。また、開放的なオーブンテラスを楽しめる朝食グリルもおすすめです。観光でもビジネスでもぜひ多くの方にご利用いただきたいですね。

今回の工事を振り返って一言お願ひします。

有澤建設の計画力と協力業者との体制が奏功したんですね。



HOTEL WBF GRANDE HAKATA

和田 通常、建設現場では建物の外側にクレーンを設置しますが、今回は建物が敷地一杯に計画され、なおかつ敷地が大通りに接していたため、建物の外にクレーンを設置するスベースがありました。そこで、建物の中の吹き抜け部分にクレーンを設置して工事を進める計画を立てました。最初のクレーンを使った解体工事では3日間周辺道路の片側を封鎖しました。その後は、クレンを1・2階と吹き抜けの空白スペースに据えて、3階から上の階へ工事を進め、14階の工事が終わった後にクレンを撤去し、最終工程の1・2階を施工しました。豪雨や雨天続きで天候に悩まされるときもありましたが、日々の工程管理を徹底すること

和田 おかげさまで、無事にホテルのオープン日に間に合って、何よりほつとしています。

規模も大きいのでかなり大掛かりな工事になったのでは?

今のお気持ちをお聞かせ下さい。

南国リゾートをテーマに博多の街に誕生した「ホテルWBFGランデ博多」。14階建の吹き抜け構造に加え、全室が外廊下という新しいスタイル

で計画通りに進められました。

07



企画工務部 次長
和田 将人
1級建築施工管理技士
4歳になる息子と話すのが樂し
みです。残念なことに間違って
パパのことをママと言ってきます。



企画工務部 所
西村 直樹



現場は、生きている。
本田氏は、コンクリート工事で10年、土木工事では30年もキャリアを積んできた現場のエキスパート。市内にどんな土壤や地質が分布しているかを知り尽くし、打ち合わせ段階から現場の場所を聞いただけで、その土地に適した掘削工事の計画を組み立てることもできる。しかし、本田氏は自分の知識を100%信用しているわけではない。「現場は生き物です。年数や天候によって土の状態は刻々と変化します。実際に掘削してみたら地下水路にぶつかり、水が出てくることも珍しくありません。そのときに臨機応変に対処できるかがこの仕事では大切ですね」。



企画工務部 総括所長
福浦 澄夫
1級建築施工管理技士
剣道の試合鑑賞歴15年以上。
各地の大会の勝敗はほとんど把握しています(自身は剣道経験はありません)(笑)。

↖↖↖↖↖掘削現場・仕事の流れ



事は、安全な現場を作り次の工種の職人達に引き継ぐこと。安全な現場を作るためには、まず作業員の安全を作らなければいけないんです」。

現場は、生きている。

本田氏は、コンクリート工事で10年、土木工事では30年もキャリアを積んできた現場のエキスパート。市内にどんな土壤や地質が分布しているかを知り尽くし、打ち合わせ段階から現場の場所を聞いただけで、その土地に適した掘削工事の計画を組み立てることもできる。しかし、本田氏は自分の知識を100%信用しているわけではない。「現場は生き物です。年数や天候によって土の状態は刻々と変化します。実際に掘削してみたら地下水路にぶつかり、水が出てくることも珍しくありません。そのときに臨機応変に対処できるかがこの仕事では大切ですね」。



【スペシャリストの技】

掘削現場の段取りで意外と必要なのが、空間認識力。その土地をどう掘り進めどう土を排出するか。掘削することで高低差が変わる土地に重機をどう配置するか。その段取り一つで工事の効率が大きく変わる。現場の空間を把握して適切な工程を組み立てるることは掘削職人にとて欠かせない資質だ。



The スペシャリスト
熟練のワザ

基礎工事の「現場」をつくる 「土」の職人。

作業員の安全と、土地の安全を守る。

掘削の現場は急斜面も多い上、重機を使用するため作業員にとって常に危険と隣合わせの場所。本田氏は常に現場の安全確保に心を配る。安全への慣れを防ぐために協力業者の親方たち70名を集めて開く、月に1度の安全会議は欠かすことのできないルーティンだ。

また、本田氏が守るのは作業員の安全だけではない。現場によっては、隣地の地盤に掘削の影響が出ないよう杭などを打ち込み、周囲の土地の安全も確保する。本田氏は語る。「我々の仕事に迫る。

前回の「杭打ち職人」に続いてご紹介するスペシャリストは「掘削職人」。地中に杭が打ち込まれた後は、建物を支えるための土台をつくる基礎工事が行われる。その現場となる空間を、土を掘り起こしてつくり出すのが掘削工事、通称「根切り」と呼ばれる工事だ。一般的には深さ2~3m、時には深さ10mに達する現場もある。など多量の土を掘り起こす。今回はその土地の地質を知り尽くし現場を指揮する掘削職人、株式会社本田組代表取締役の本田良人氏の仕事に迫る。

Specialist



株式会社本田組
代表取締役
本田 良人氏

安全を第一に今年50周年を迎えた本田組。仮設工事から移動クレーン工事まで総合的に請け負う有澤建設(株)の協力業者で構成する「有美会」の会長も務める。

Just Now! [現場から]

建設現場から進捗状況をレポートします!

今回の現場監督

企画工務部 主任 御船 裕之

詠りためた海外ドラマ鑑賞が休日のリラックス時間。最近は見る時間が無く、100時間分もたまっています。近々一気鑑賞を解禁したいです。



私がレポートしてきました!

企画営業部 課長 平野 誠治

前回のWITH出演後、スーツのバツバツ具合に関するお問合せを多数いただきました。現在ダイエット中!次回のスリムな平野にご期待ください!



部屋の壁を作成中。お部屋が仕上がりに向かいます。



現場の施工状況を確認中。不具合がないか等、一つひとつ職人と確かめています。



厳しい現場だからこそ職人とのコミュニケーションを大切にしている御船主任。



激しい音を立てる重機を繊細に操る職人さん。声を掛け合いながら安全に外構工事を進めます。



物件前で御船主任にインタビュー。



屋上の防水工事。雨もりがないよう細かな確認をしながら作業をしていました。



ベージュとブラックのツートンが印象的な外観。

台風で工事が止まつても
現場の連携で
遅れを取り戻す

建物概要

◎(仮称)早良区藤崎1丁目
マンション新築工事
正式名称:GROLIA FUJISAKI

用途／共同住宅
竣工年:2018年
建築地:福岡市早良区藤崎
構造:鉄筋コンクリート造
規模:5階建

ます。お客様の希望を設計士と協力して考え、現場で形にしていく。それが自分の役割だと考えていました。設計士からあがつてきた図面がお客様の希望に沿っていない時は、現場監督の視点でアイデアを提案することもあります。

平野 御船さんは前職では駅構内の工事に携わっていたんですね。

御船 そうです。キヨスクや駅ナカのテナントなど店舗設計の工事を経験してきました。だから、現場監督をしながら電気設備や排水設備など建物の中まで見れるというのは自分の強みかもしれません。今回の現場でもそれが立ちました。

平野 最後に今後の抱負をお願いします。

御船 お客様のイメージ通りの建物を造ることです。子どもたちに自慢できる仕事を手掛けたいですね。

御船 職人さんとよくコミュニケーションを取るようにしています。現場に立ち寄ったら必ず声をかけますし、特に今年の夏は暑かったので皆さんの体調を気遣って熱中症対策の声掛けを意識していました。

平野 御船さんが現場監督として大切にしていることは何ですか?

御船 現場監督はお客様と設計士をつなぐ「橋渡し」だと思っていました。

平野 今年の夏は台風が多かったですが、工事の進捗はどうですか? 監督を務めるのは工務部の御船主任。台風の多かった今夏、工事を進行したのか? 現場の進捗と御船主任の仕事ぶりをご紹介します。

危機への意識が、現場の力になる。



異常気象と言われる昨今ですが、2018年は特に台風の発生数が多い年でした。例年8月の平均発生数は5.9個だそうですが、今年は9個も発生しているとのことです。また、7月に西日本を襲った豪雨では広い範囲で多数の被害が発生しました。未だ仮設住宅で暮らしている方も多くいらっしゃいます。広島の工場では浸水により機械が使いものにならず、会社をたたむかどうか悩まれている企業があるという記事を読みました。同じ経営者として身につまされる話です。

建設という業種は、天災による影響を非常に受けやすく、我々の仕事は常に天候との戦いです。台風が来るとわかれば、現場監督たちは施工を中断し、最善の注意を払い2次被害を防ぐ対策を行います。たとえ思い当たる対策をすべてとっても、台風が過ぎるまでは気が気ではありません。また、各地で台風による被害が発生すると、現場の重機や人手はまずは被災地に回されるため、工期がずれ込むことは少なくありません。

しかし有澤建設では、そういう危機に対する事前準備の大切さを常に現場で共有できており、そして、どんなに予想外のことが起こったとしても、お客様にはご迷惑をかけないように先に予測して対策を講じます。

とはいえ、ここ最近の災害は我々の予想をはるかに超えてくる規模となっています。我々が今すべきことは、これまでの危機感に対する概念を変え、現場でできること、組織体でできることなど、事前準備のあり方を改めて問い合わせすことだと思います。それを現場で共有し、各自が自主的に動いていくことが、有澤建設の現場力となり、延いてはお客様への満足につながっていくはずです。

代表取締役 木下 英資

GO WITH TEAM!

[有澤建設社員のいいカンケイ図]

お客様の想いを
カタチにするため
一生懸命に頑張ります!

企画工務部 主任
永田 智博

企画工務部は、住宅、オフィスビル、学校など多彩な建物を施工管理。お客様と細やかな打合せを重ね、安全管理を徹底し、高品質なモノづくり、街づくりをご提案します。

DATA 01

前職での営業経験も活きて、気配りがよく効く。人見知りだが、優しく面倒見もよい。

DATA 02

現場近隣での評判が良い。以前、担当現場で周辺の別の仕事を依頼されたことがある。



信頼できる男です!

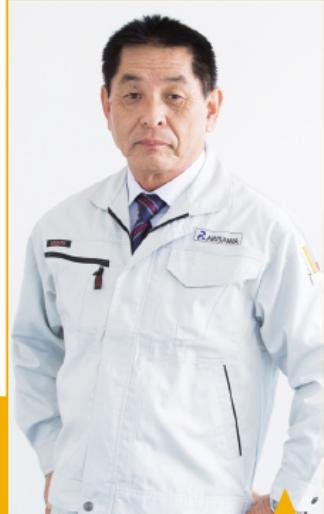
教育してもらいました!!

永田主任は人あたりがよく、
様々な人に好かれる人です!



永田主任はとても人あたりがよく、お客様から協力業者まで丁寧な対応を行うので様々な人に好かれる人だと思います。後輩にも優しくて面倒見が良く、いつも後輩のフォローをしています。また膨大な仕事や繊細な仕事でも渋々とこなすスマートな人です。業務上の難しい部分だったり、悩んでいることを相談すると一緒に考えてくれますし、そんな時、彼の建物や仕事に対する熱い想いが伝わってきます。彼の存在は、私はもちろん会社の誰もが助かっています。

企画工務部 主任
山下 竜馬



永田君は工務部に入った当初、現場と一緒にした時は、経験が浅くちょっと頼りない感じのする若者でしたが、はじめて積極的な性格で日々努力し、現場での工程管理や施工主様との打合せなどに一生懸命取り組んでいて、日々成長をしている後輩の一人となっています。

企画工務部 統括所長
堀江 繁利

永田君はよく頑張って、工務部に欠かせない人材に成長したよ!

いい仕事は、いい人間関係から生まれる!
ひとつのプロジェクトが成功するには、
チームの団結や協力が欠かせません。
このコーナーでは「いい仕事」を生み出すために
チーム一丸となつて頑張る社員たちの
「いい関係」をご紹介します。